

ロングシート フィーダーと第5イメージングユニットの可能性に魅せられ、Kodak NexPressを導入。 目的はお客様の満足と喜びのために。

お客様との絆を大切に 地域密着型の総合印刷会社

栃木県宇都宮市に本社を構える株式会社井上総合印刷は、従業員 97 名を擁する県内屈指の総合印刷会社である。市内にある 3 つの生産拠点には、2 台のオフセット輪転機と 10 台の枚葉印刷機を中心に、数多くの加工機を設備して、企画から編集デザイン、CTP、印刷、製本加工まで一貫した社内生産体制を構築している。仕事内容も名刺、はがき、封筒、チラシ、カタログ、ポスターなどの一般商業印刷から、図録や記念誌、一般書籍などの書籍／冊子印刷、フォーム印刷、新聞印刷、さらにはクオカードなどの特殊印刷まで多岐に及んでいる。同社は昭和 41 年の創業以来、半世紀近くにわたって、地域のお客様との絆を大切にしながら事業を大きく拡大してきた。現在では地元栃木県を中心に、北は東北地方から南は中部地方まで営業エリアを広げ、個人のお客様から一般企業や官公庁、同業印刷会社、企画デザイン会社と、多くの顧客を抱えている。社会貢献活動にも積極的で、平成 22 年には「宇都宮まちづくり貢献企業」に認証された。また、同社が支援する「栃木自分史友の会」は 20 年以上にわたって活動を続けている。同社発行の今を生きる心の季刊誌「しもつけの心」も創刊 7 年目を迎えた。まさに地域に根ざした総合印刷会社なのである。

お客様に喜ばれるサービスを提供するために Kodak NexPress を導入

同社がデジタル印刷システムの Kodak NexPress Photo 3300 Press を導入したのは 2012 年 9 月のこと。すでに 10 年前からオンデマンド機を仕事に活用してきたが、本格的なハイエンド デジタル印刷機の導入は、今回が初めてだった。同社の代表取締役である井上光夫氏は、導入の理由について力を込めて語る。

「印刷技術の進展によって、デジタル印刷はここ 10 年で驚くほど進化しました。品質は従来の印刷技術に限りなく近づき、大判サイズへの印刷も可能になりました。このような最新鋭の技術を満載したコダックの NexPress なら、お客様に喜ん



2012年9月に導入したKodak NexPress Photo 3300 Press

でもらえる商品やサービスが提供できるようになると考えて、導入を決断しました」

NexPress の機能のなかでも、同社が最も注目したのはロングシート フィーダーと第 5 イメージング ユニット。ロングシート フィーダーを使用すれば、最長で 660mm の長尺シートが通せるため、A4/3 面付け 6 ページの大きなサイズにも印刷できるようになる。同社取締役の井上加容子氏は、ロングシート フィーダーのメリットに大きな手応えを感じている。

「小ロットの冊子や書籍の場合、本文はデジタ

ルで印刷できますが、横長サイズのカバーは、従来オフセット印刷でなければ対応できませんでした。しかし NexPress のロングシート フィーダーを利用すれば、少数のカバーも効率的に印刷が行えます。印刷品質も遜色ないのでお客様にも喜んでいただけます」

さらに第 5 イメージング ユニットを利用してグロス加工を施せば、書籍カバーらしい高級感も付加できる。このロングシート フィーダーの 356 × 660mm という最大用紙サイズをフル活用して、中綴じ 2 つ折りのカレンダーも作成した。少数数



代表取締役 井上 光夫氏



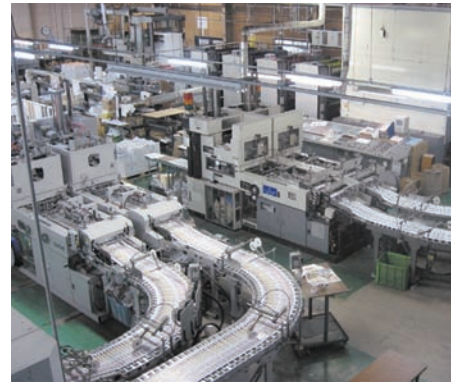
取締役 井上 加容子氏



DM、カレンダー、冊子など様々な製品をNexPressで印刷



最長660mmの長尺シートに対応したロングシート フィーダー



同社の「平出工場」に設備されているオフセット輪転機

のデジタル印刷にも関わらず、写真が美しく再現でき、費用も安く済んだので、とても喜ばれたようだ。この他、巻き3つ折りのパンフレットや糊とじのバリエーションにも活用するなど、導入からわずか3ヵ月で大活躍している。

お客様の多様なニーズに対応する NexPressの新しい可能性

同社がもうひとつ注目したNexPressの機能である第5イメージングユニットも、予想以上の成果を上げているようだ。クリアナーによる全面/スポットコーティングはもちろん、特定の文字や画像に盛り上げ/3D効果を施すディメンショナルプリンティングを駆使した印刷は、付加価値の高いアプリケーションとしてすでに実際の仕事でも効果をあげている。今後は、ブラックライトに反応する蛍光インキ、さらにはゴールド、パール、蛍光ピンクなど、NexPressの新機能が提供する多彩なソリューションが、新しい商品開発の意欲を高めて、同社のビジネス領域をさらに大きく広げるであろうと期待を抱いている。井上取締役は第5イメージングユニットの活用について次のように話している。

「洋菓子店のDMハガキでは、スイーツの絵柄部分に3D効果を施しています。今までは高価で手が出せなかった、このような特殊加工も手軽な価格で採用できるようになったと、とても好評でした。また品質が重視される美術関係のDMも、NexPressの写真品質なら問題はないと大変満足されています。バリエーション機能を利用したオリジナルのピンゴカードも、気軽に作成できるようになりました」

井上取締役は新年会で使う自分の名刺も

NexPressで印刷した。已年の可愛いイラストを透かし印刷したこの名刺は参加者の反響を呼んだそうだ。このように経営陣が率先して商品PRに務めるなか、社員たちもNexPressの魅力に取りつかれていった。デザイナーは新しい印刷価値を創造することに喜びを覚え、営業も引き出しが多くなったことで、積極的な提案営業が可能となった。まさに社員全員のモチベーションが向上した。

「デザイナーも、営業も、オペレーターも、NexPressの新しい可能性を知り、本当に楽しそうに仕事をしています。オフセット印刷機の担当者も、印刷機に似た内部機構を持つNexPressに興味津々でした」

こう話す井上取締役は全社員一丸となつての取り組みに笑顔をみせた。

オフセットでも、デジタルでも ものづくりの原点は「お客様第一」

同社では部数だけではなく、納期や版数、機械の空き状況などを考慮した上で、オフセットとデジタル印刷を使い分けているが、NexPressの導入で、より柔軟な運用が可能になったと井上社長は話す。

「これまでは品質を重視するあまり、小ロットの仕事でも無理してオフセット印刷で対応している場合もありました。しかし品質に差がなくなった今は、1000部程度のチラシならNexPressに任せています。また納期が厳しいときは、部数が多くてもNexPressで印刷します」

オフセットでもデジタルでも構わない。肝心なことは顧客のニーズに確実に応えて、満足してもらえるかどうかなのだ。そのために同社は

NexPressを導入した。井上社長は「すべてはお客様のため」とその思いを語る。

「最先端の印刷技術を提供することで、お客様の満足度をより一層高めることができます。実際、NexPressを導入してからは、部数、納期、付加価値といった面で、『今までオフセット印刷ではできなかったことができる』とお客様に満足してもらえ、喜んでもらえる機会が増えました」

ここに長年培ってきた顧客との信頼関係の原点がある。井上取締役も「より細やかなサービスを提供できるようになりました」とうなずいた。謄写印刷、手差し活版、オフセット、デジタルと印刷技術が変化しても、ものづくりの基本は変わらない。印刷は製造業ではなく、「ものづくりサービス業」として、「すべては顧客ニーズのために」とお客様第一主義を貫けば、自ずと成功が見えてくる。井上総合印刷がそれを見事に証明しているようだ。



株式会社井上総合印刷

創立：昭和41年10月
代表取締役社長：井上 光夫
従業員数：97名
本社所在地：〒321-0973 宇都宮市岩曾町1355番地
TEL：028-661-4723（代表）／FAX：028-662-7607
<http://www.inoue-gp.jp/>

コダック株式会社 グラフィック コミュニケーション本部

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-9 TEL.03-5577-1200
大阪：06-6105-9670 名古屋：052-746-1290 福岡：092-707-0180
仙台：022-290-2070 札幌：011-590-5070 金沢：076-200-7159
製品のお問い合わせ先 JP-GCG-products@kodak.com
<http://graphics.kodak.com>

Kodak

YELLOW CHANGES EVERYTHING